

情報通信が支える次世代のITS 講演概要

タイトル: 日産の自動運転開発とそれを支える V2X

交通事故、交通渋滞、地球温暖化などモータリゼーションの発達による負の遺産が社会問題となっています。これらを解決する一つの技術的方策として、ITS (Intelligent Transportation System)という技術が注目を集めています。ITS は外界を認識し、人に働きかけ、社会インフラと連携することによってこれらの問題を解こうという技術で、すでに ITS 技術を用いた数々の運転支援システムが実用化されています。また、運転支援の先にあると言われている「自動運転」についての話題が近年花盛りとなり、各国、各社が競って開発を進めています。自動運転は車載のセンサーで外界を認識して走行するのが基本ですが、車載センサーでは見えない情報も多くあり、先読み情報として通信による情報取得が期待されています。海外でも”Connected & Automated”という言葉が盛んに使われるようになりました。ここでは日産が進める自動運転技術開発の状況と、通信への期待について紹介させていただきます。

(スペース込み 450 字)

※1 1枚に収まる分量を目安にいただければ幸いです。